

IIJ、クラウド型「IIJ 仮想デスクトップサービス」を機能拡充

-- 同時アクセス数を 5,000 ユーザまで拡大、企業のデジタル・ワークプレイスを後押し --

株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:勝 栄二郎、コード番号:3774 東証第一部)は、Windows のデスクトップとアプリケーション環境を仮想化し、月額クラウドサービスとして提供する「IIJ 仮想デスクトップサービス」において、同時接続ユーザ数の拡大やマスターイメージの運用代行オプションの追加等を行い、2019年2月15日より提供開始いたします。

IIJ 仮想デスクトップサービスは、Citrix 社の Citrix Virtual Apps and Desktops(旧称:XenApp および XenDesktop 7.15 LTSR)を活用し、仮想デスクトップを利用するために必要な高性能サーバリソース、ライセンス、運用一式をクラウド型で提供しているサービスです。パソコンやスマートデバイスで利用でき、端末にデータを保有しないため、セキュアなモバイルワークが実現できます。Windows 10 に対応しており、Windows 7 の延長サポート終了(2020年1月14日予定)に伴う OS 移行にも最適です。また、IIJ の他サービスの併用によって、認証対策やモバイルの接続性維持など、仮想デスクトップを利用する上で生じる IT 課題を解決します。

機能拡充

- 同時アクセス数の拡大とハイコア・ハイメモリなデスクトップリソース
同時に 5,000 ユーザまでお使いいただけます。デスクトップリソースは、CPU コア数 48、メモリ 1024GB~2048GB を搭載した仮想サーバを提供します。
- マスターイメージ運用代行オプション
毎月 1 回、指定された日時に Windows Update を反映したマスターイメージを自動作成し、実行します。マスターイメージの手動配信や切り戻し作業の代行、OS の変更にも対応します。複数のマスターイメージを保持でき、クローニング(複製)時に不具合が生じた場合は設定変更前の状態に PC の再起動で切り戻すことができます。

サービス仕様

従来のサービスメニュー体系を刷新し、以下のとおり提供いたします。

基本サービス	「管理リソース」	専用の管理画面: 仮想デスクトップの設定・管理やマスターイメージの管理
	「デスクトップリソース」	サーバスペック: CPU コア数 48、メモリ 1024GB~2048GB
	「VDS ライセンス」	仮想デスクトップ ライセンス
	「プロファイルストレージ」	ユーザデータ保存ストレージ: ・ デスクトップ / 1 ユーザあたり 50GB ・ アプリケーション(デバイス端末用) / 1 ユーザあたり 10GB
オプション	「アンチウィルスオプション」	トレンドマイクロ社「ウィルスバスターコーポレートエディション」ユーザライセンス
	「マスターイメージ運用代行オプション」	マスターイメージの運用代行
対応 OS	デスクトップ	Windows 10、Windows 7
	アプリケーション配信	Windows Server 2016、Windows Server 2019(対応予定)

- ※ IIJ プライベートアクセスサービスを別途ご契約いただく必要があります。
- ※ Windows 2019 の対応時期は、サービスサイトにてお知らせいたします。

参考価格

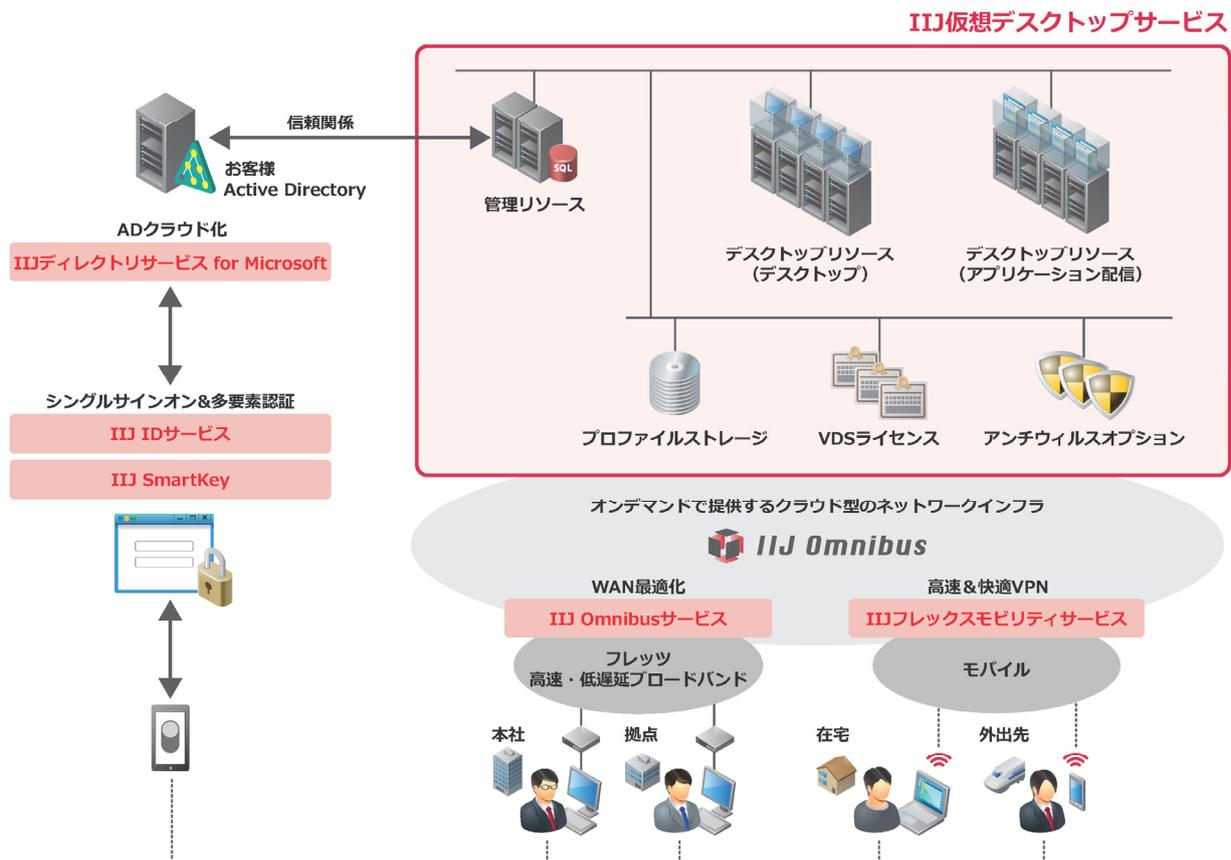
仮想 PC 環境 (3,000 ユーザ、同時接続 2,100 ユーザ)	1 ユーザあたり月額約 3,600 円
Web 分離環境 (2,500 ユーザ、同時接続 500 ユーザ)	1 ユーザあたり月額約 1,600 円

※システム構成および利用料金例は <https://www.ij.ad.jp/biz/desktop/case.html> を併せてご覧ください。

IIJ サービスとの併用例

- インターネットからのアクセスと認証対策
Active Directory (AD) のクラウド運用サービス「IIJ ディレクトリサービス for Microsoft」や、クラウド型 ID 管理・認証サービス「IIJ ID サービス」を併せてお使いいただくことで、AD サーバのインフラ運用や ID・パスワード管理の負荷軽減、フェデレーション (各種サービスへのシングルサインオン) が実現できます。ワンタイムパスワードの管理アプリ「IIJ SmartKey」で段階認証によるセキュリティ強化も図れます。
- 快適なネットワーク接続性の確保
フレックス輻輳回避やゲートウェイ負荷分散等を実現するネットワークの仮想化サービス「IIJ Omnibus サービス」や、切れにくい快適な VPN 環境を提供する「IIJ フレックスモビリティサービス」を利用することで、拠点間の回線混雑や再接続の手間といったモバイル通信時のストレスがありません。

サービス概要図



※ 「IIJ GIO 仮想デスクトップサービス」から IIJ 仮想デスクトップサービスへサービス名を変更いたしました。

- IIJ では、仮想デスクトップサービスを検討されているお客様を対象に、本サービスにかかるセミナー「Windows as a Service 時代に最適な仮想デスクトップサービスとは？」(2019年2月7日)を開催します。セミナーの詳細については、<https://biz.ij.jp/public/seminar/view/519> をご覧ください。

■エンドースメント

Citrix Virtual Apps and Desktops (旧称: XenApp および XenDesktop 7.15 LTSR) を利用した IIJ 仮想デスクトップサービスは、ユーザが各端末にデータを保有せず、各々のパソコンやスマートデバイスにおいてセキュアなモバイルワーク環境を実現します。今回、この IIJ 仮想デスクトップサービスに、同時接続可能なユーザ数の拡大やマスターイメージの運用代行オプション等、新たな機能が追加され、より使い勝手の良いモバイルワーク環境が構築されます。シトリックスとしてもこの環境構築実現に貢献できることを、大変嬉しく思っています。

シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社
代表取締役社長
青葉 雅和

IIJ では今後も、付加価値の高いクラウドサービスの提供を通じて、お客様のデジタル・ワークプレイス戦略をサポートしてまいります。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 荒井、増田

TEL: 03-5205-6310 FAX: 03-5205-6377

E-mail: press@ij.ad.jp

URL: <https://www.ij.ad.jp/>

※本プレスリリースに記載されている社名、サービス名などは、各社の商標あるいは登録商標です。